



上天草市立上天草総合病院

地域医療連携通信

上天草総合病院理念
信頼される地域医療
基本方針

1. 私達は、患者様中心の医療をめざします。
2. 私達は、地域に根ざしたところあたたかな医療を提供します。
3. 私達は、患者様に快適で安全・安心な医療を提供します。
4. 私達は、退院後も安心して療養できる病院をめざします。
5. 私達は、常に自己研鑽に努め、医療水準の向上に励みます。
6. 私達は、健全な病院経営をめざします。

上天草市立上天草総合病院 地域医療支援部 (直通)

電話:0969-54-7373 FAX:0969-62-1547

住所:866-0293 熊本県上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19

電話:0969-62-1122(代) FAX:0969-62-1546(代)

URL : <http://www.cityhosp-kamiamakusa.jp/>Eメール ; kamiama@cityhosp-kamiamakusa.jp

発行責任者:地域医療支援部長 城野 英利

就任のご挨拶

病院事業管理者 岸川 秀樹



コロナ感染症の出現により世界中が厳しい生活を求められ、上天草市域の皆様も多く、の制約の中で、大変な思いで健康維持の努力を続けられているものと推察いたします。この度、ご縁があって伝統ある上天草総合病院の一員として活動することになりました。

当院に赴任する前は、熊本大学附属病院を経て、黒髪の大学本部地区にある熊本大学保健センター、その後は八代市にある地域医療機能推進機構熊本総合病院の糖尿病センター・健康管理センターに勤務し、生活習慣病・予防医学・産業医学の領域で活動を行って参りました。

これまで上天草市に居住したことはなかったのですが、風光明媚な土地で、かつ食も豊富で、人情も厚い土地柄と感じておりましたので、当地で生活することができ大変楽しみにしております。

着任した上天草総合病院は内科・外科・整形外科・眼科・耳鼻科・皮膚科・泌尿器科など多数の診療科を有し、教良木診療所・湯島診療所などの遠隔地診療所も管轄する大きな地域医療圏を担当する病院で、介護施設なども有し、健康障害のあらゆる場面に対応可能な、文字通りの総合病院でした。しかしながら、高齢化や人口減少の問題など地域の抱える様々な課題に対応していかなければならず、都市部の病院以上に絶えず変革を求められている病院と感じております。

上天草市は南北に細長く、離島もあり、病院まで

距離が遠い地区も含まれ、地域の皆様は多様な環境の中で生活されているように思われます。このような医療環境・医療需要に対応するためには、上天草総合病院単独ではなく、地元医師会の先生方や施設の皆様、周辺病院との協力が不可欠と思われま。少し遠くにはなりますが、熊本大学病院をはじめとする熊本市圏の大規模病院との連携も非常に重要です。そのため、上天草総合病院では、医療情報ネットワークの設置・遠隔医療の推進・人的交流などにより遠隔病院と連携し、医療水準の向上に努めております。近日中にドローンを用いた周辺町村との医療連携実験も予定されているそうですが、その成果を心待ちにしているところです。

病院内では、限られた人員で効率の高い業務を行うこと、働き方改革に伴う職員の就業環境改善を行うこと、行政機関の御指導も頂きながらの経営状態健全化も大きな目標です。また、次世代の医療人を育成し、将来の地域医療に貢献することも上天草総合病院の使命の一つで継続的に取り組んでいきます。

病院は上天草市の南部に位置しておりますが、上天草市とその周辺の地域医療の基幹病院としての気概を持ち、上天草市の地理的中心に位置する病院であるかのように、上天草市の全域で活動し、皆様のお役に立ちたいと思っております。これまで以上に、地域の皆様に愛される利便性の高い病院、質の高い医療を行う病院を目指し、職員皆で努力して参りますので、地域の皆様の御支援をあらためて御願い申し上げます。

当院での新型コロナウイルス感染対策への取り組み

感染防止対策室 尾崎 かおり

感染防止対策室の尾崎です。当院の感染防止対策室は、今年4月に設置され感染管理に関わる活動を行っています。新型コロナウイルス感染症に係る熊本県リスクレベルも、上がったたり下がったりを繰り返しており、なかなか収束の兆しが見えません。そんな中、インフルエンザの流行シーズンに突入しようとしています。

当院では、昨年のインフルエンザ流行期から面会制限を行っており、熊本県のリスクレベルを参考に「面会制限」から「面会禁止」へ変更し対応しています。入院されている患者さんやご家族の方には、大変不自由な思いをおかけし申し訳ないと思っています。何らかの方法で面会が行えるよう、現在タブレットを使用したオンライン面会を導入しております。当院を利用いただいている患者さんやご家族、出入りする業者の方へは、体温測定と手指消毒の実施、マスク着用の声掛けをさせていただいております。熱がある患者さんは、他の患者さんと接触しないよう、院外に設置しておりますプレハブにて診察を行っています。また、手術前の患者さんには新型コロナウイルス感染症の検査を実施しております。職員に関しましても、事務職等に関わらず全職員、出勤前の体温測定と健康観察を行い、体調不良の際は受診を勧め自宅待機とし、必要時新型コロナウイルス感染症の検査を実施しています。

新型コロナウイルス感染症を、病院内に持ち込まない、持ち出さないということを念頭に感染対策を実施しておりますが、新型コロナウイルス感染症は無症状の方も多くいらっしゃいます。そのため、症状の有無に関わらず「誰でも新型コロナウイルスに感染している可能性がある」という気持ちで感染対

策を行っていく必要があります。医療の現場では、そのような感染対策を「標準予防策」と言います。聞きなれない言葉ですが、標準予防策とは、皆さんが日頃から実施しておられる「手洗い（手指消毒）」、「マスク着用（咳エチケット）」などが含まれます。感染の有無に関わらず、日頃からこのような感染対策が必要ということになります。外国人の入国規制や、手洗い、マスク着用の成果か、現在熊本県ではインフルエンザは報告されていません。当院でも11月10日から一般（成人）の方のインフルエンザワクチン接種が始まります。今後実施することになるであろう新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の準備（予行練習）として、また密な環境を防ぐため場所を龍ヶ岳体育館へ変更し、予約制で実施することにしました。皆様のご理解と、ご協力をお願いいたします。

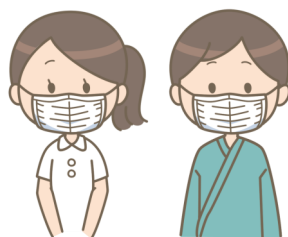


▲トリアージの様子

今回、新型コロナウイルス感染症の流行で、当院では個人防護具の着脱訓練を実施し、手指消毒剤も携帯用を導入し職員の感染対策への意識も向上しているように思われます。また、正面玄関では職員が交代でトリアージを実施し、退勤前に総務課職員が外来待合室の高頻度接触部位の消毒を実施するなど、職種を問わず一丸となって感染対策へ取り組んでおります。新型コロナウイルス感染症の流行で、皆さんの不安やストレスは計り知れないものになっていることでしょう。ストレスを感じているのは自分だけではありません。こういう時期だからこそ、「人を思いやる」ということが大切になってきます。私もあらためて、家族や同僚・周りの人の大切さを感じています。ワクチンの開発と、早い収束を祈って、みんなでこの困難を乗り越えていきましょう。



▲手指消毒



▲マスク着用

戴帽式を終えて

上天草看護専門学校 44期生 大越 鈴華



入学した頃は、新しい道が始まることへのウキウキする思いと、自分の夢を叶えるため頑張っていこうという気持ちがありました。しかし、入学式から約半年が経った今日、学校生活は充実の毎日ですが、覚えることもたくさんあり、演習や定期試験など自分の弱い一面を見つけ、私はこれから本当に看護師になれるのかという不安な気持ちも感じるようになりました。また、先輩からの言葉で「実習の前には泣いた」と聞いたことや、副学校長からナースキャップをいただいた時に、夢に一步近づけて嬉しい反面、一步間違えたら命の危機にさらすかもしれないという恐怖心もでてきました。



私は、学校長の講義のなかで「看護とはアートとサイエンスが組み合わさったもの」と教えていただきました。演習などを通して

本当に実感しており、過去の入院生活でもその通りだなと思うようなケアを看護師にさせていただきました。今回の戴帽式では、残念ながら保護者に見せることは出来ませんでした。勉強できる環境があることが当たり前ではないということ念頭に置き、初心を持ちながら日々精進していければなと思っています。この先、辛いことの方がたくさんあり逃げ出したくなることもあると思うけれど、44期生のみんなと力を合わせてそれぞれの道に進んでいきたいです。



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため
2020年度の上天草け～な健康フェアの開催は中止いたします。

ご理解のほどよろしくお願いいたします。

研修会・勉強会の行事予定表

11月13日(金)	学研・基礎研修) 情報として使える看護記録 ～チームで共有するために～	15:00～ 当院6階講堂
11月20日(金)	心臓リハビリテーション教室 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当面の間、開催は中止します。	14:00～ 当院6階講堂
11月27日(金)	がんサロン 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当面の間、開催は中止します。	13:30～ 当院6階講堂

編集後記

○コロナは、未だ収束の兆しがありませんね。コロナ感染が広まったところから“アマビエ”を耳にするようになりました。アマビエとは日本に伝わる妖怪で、疫病除けのご利益があるとされています。このアマビエは、1846年、肥後(熊本県)の海中に光る怪物が現れ、「病が流行したときに自分の姿を写して人々に見せるように」と告げて海中に消えた、という伝説に由来しているそうです。ウイルスという目に見えない感染症への恐怖は、現代においても神様や仏さまだけでなく、妖怪にもすがり気持があるのでしょうね。(城野)

11月 診療案内

※は、熊大応援医師

	月	火	水	木	金	休診日
内科 (消化器内科 呼吸器内科)	和田 正文 小林 博 林 広隆	岸川 秀樹 和田 正文 原田 裕士 林 広隆	原田 裕士 小林 博 中村 太造	和田 正文 原田 裕士 林 広隆	小林 博 村本 啓	
代謝内科	※花谷 聡子			岸川 秀樹	※小野 薫 (第1・3・5) ※大津 可絵 (第2・4)	
脳神経内科				林 広隆 (午後)		
※毎週木曜日午後から予約制の診療となります。						
循環器内科	脇田 富雄	脇田 富雄			脇田 富雄	
小児科	船曳 哲典	※熊大	船曳 哲典	船曳 哲典	船曳 哲典	
外科・肛門外科 消化器外科	大堂 雅晴	城野 英利	大堂 雅晴	城野 英利	大堂 雅晴	
整形外科	藤松 晃一	※上原 悠輔	藤松 晃一 村上 直也	藤松 晃一	村上 直也	
※11/11(水)、12(木)、16(月)、18(水)、19(木)は、藤松医師不在のため、村上医師による診療となります。 ※毎週火曜日の診療開始は10時50分からとなります。 ※毎週水曜日の藤松医師の診療は予約のみとなります。						
耳鼻咽喉科	—	※熊大	—	※熊大	※熊大	
眼科	粟井 麻衣子	竹下 哲二	竹下 哲二	竹下 哲二	竹下 哲二	
※第1・第3・第5水曜日は、熊大医師による診療となります。						
皮膚科	—	—	—	※熊大	—	
泌尿器科	—	小川 愛一郎	—	—	—	
超音波・ 内視鏡センター	城野 英利	中村 太造	※松野 健司	大堂 雅晴	※山崎 明	
歯科・口腔外科	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	
※午後は、13時～16時30分までの受付です。						
教良木診療所 応援	原田 裕士	小林 博	応援	応援	林 広隆	
御所浦診療所 応援	竹下 哲二 (午前)					

※診療受付時間は午前8時30分～11時30分までです。

※脳神経外科は月2回(第2、第4水曜日)の午後2時より診療を行います。(予約制)

※診療案内は都合により変更となる場合があります。ご了承ください。